

リトピュア 定例研修会

2020年10月25日（日）

終了後、配布資料

Zoomレッスンについて

- 教室レッスンと同じように成果が出ています。

オンラインレッスンは特別ではない！
必須ではないが、迷っているのならば取り入れましょう。

振替ができる、産前産後に休まずできると好評いただいています。

- Zoomレッスン教室紹介
リトピュアWEBサイトの【3つの学び方】の
「Zoomレッスン」で導入教室を掲載しリンクしています。

Zoomレッスンは、教室と同じ、月2回の定期開催をし
一つの教室として開催してください。

- 専用の申請書を送ります。
すでに開催している方、これから始めようという方、
記入して提出をしてください。

報告書にもZoomレッスンが記載できる欄をつくります。

感染対策について

9月にも送りましたが、これから冬にかけ、感染が心配な時期になります。これまで以上に、感染対策を意識して行いましょう。

小さなお子さんを持つママパパが気になることです。親子が安心して通える場として、リトピュアの環境維持を再度、意識しましょう。

■ 消毒液

用意してあればいい、ではなく、全員が使っていることが大事声をかけ促しましょう。

■ 換気

レッスン中、前後に、ドアや窓を開け換気をしましょう。
している！という事が伝わるためにはパフォーマンスも大事です。
「換気します！お子さん気をつけてね。少し寒くなりますが…」など声をかけましょう。

■ マスク着用

ママパパはもちろん、先生もです。
マウスシールド、フェイスシールドは表情が見える利点もありますが飛沫感染が不安なママパパも多いです。できる限りマスク着用で合奏、ダンスで使う場合は事前に伝え、必ず距離を保ちましょう

SNSについて

一人ひとりが、Facebook、Instagram、Twitter等の発信強化をしていることはリトピュアを多くの方に知っていただける、とても良い行動です。

ここで興味を持った方が、観たい！読みたい！となる教室ブログを更新しましょう。

SNSで、「良かれ」と思っている行動で注意が必要なことがあります。

■ 写真

スクリーンショットは、リトピュアに限らず、基本NG行動

リトピュアの公式Instagram、Facebook、WEBサイトの最新記事で掲載した加工済みの写真に関して、加盟講師の皆さんが使用することはOKとします。

ただし、加盟講師、本部の個人アカウントSNS、教室ブログに写真の使用は基本NGです。どうしても、場合は、連絡を入れ確認しましょう。

また、リトピュアWEBサイトもNGです。全体で意図が伝わるようつくられています。一部だけでは誤解を招くためです。

SNSについて - 2

※写真の続き

あったらいいなというものは、希望を出してくださいね
「体験受付中」のように作成します。

著作権上、絵本の表紙、中の明瞭な映り込みは、避けるようにしましょう。
アングルに注意して、集中している子どもにフォーカスが効果的です。

■ 動画

動画は、使い方が大事です。
音無し、短めにしましょう。

ターゲットが求めているのは、「雰囲気」です。
カリキュラム詳細や先生のアップではありません。

文章、教室ブログを読みたくなるきっかけであること。
その観点を忘れないでください。

実技 ダンスポイント ♪ 星に願いを

- 1・2・3・4 シュー と腕を引きながら足をスライドさせる動き

キッズのダンス動画の最初に解説している動きです。
もう一度、動画をよく観て、ポイントをつかんでください。

足を大きくだすと、シューという移動がしやすくなります。

- 両手を斜めに広げ、左右の足を交互に出す動き

キッズのダンス動画1：58～の動きです。

身体を倒し両手は斜めに開き、片手を斜め上、片手を斜め下にする
足は、上げた手と同じ方を出す。

重心は、出していない足にかかっている
この足の膝を少し曲げる

上げた手と、出した足がまっすぐのラインになるとかっこいい

- ※動きが違う人が多かったです。動画をもう一度よく観ましょう。
自分の動きを動画に撮って見比べて違いを修正しましょう。

実技 絵本 持ち方・めくり方

■ 絵本の持ち方

- ・片手で持つ…右でも左でも、持ちやすいほうでいい
- ・持つ手の脇を閉める…脇を閉めると力を入れなくても、絵本を安定させられる

高さは、胸くらい、
顔の横は、高過ぎ、子どもが見づらくて、立つ原因となる

■ 絵本のめくり方

※厚手でないものの場合

- ・絵本を持っている下の手の人差し指で、ページの下を中央に少し引き寄せる
- ・たわんだページの上に、支えている上の手の指を入れ、上下でタイミングよくめくる

たわませることで、上から、内側に次のページが見え、内容の確認もできます。

絵本が身体の横、にならないように注意しましょう。

こんなとき、どうする？

泣いている子

- まず！「泣いている＝困った！」ではない意識を持つ

なぜ泣くのか…伝えようとしている、言葉の代わりに

泣き止ませよう、とするより、泣いていること、伝えようとしていることを受け止める

- なぜ泣いているのか、子どもの視線、動き、前後の行動から探る

また、ママパパがどういう傾向、意識を持たれているのか探る

事前の接触（メール、電話）やレッスンの最初の時間にしておくといい

- すぐできること

- ・ ママパパの顔が見えるように抱っこしていただく

- ・ 泣く、は困った行動ではなく、「伝えよう」としているとても素敵な行動と伝える

- ・ トントンとリズムをとっていただく、立ってユラユラでもいい。どちらも優しく

- 大丈夫ですよ！には裏付けとなる言葉をすぐ言う

- リトピュアは、同じことをさせる、が目的ではなく、一人ひとりどう反応するかを引出している

こんなとき、どうする？

立つカリキュラムで座っている子

- まず！誘う
「立って！」 「一緒にしよう！」
ママパパは立ってもらう
トントンしたり、触れたり、時々する
- その場でしていることを、見逃さない
「リズムとってるね」 「音に合ってるよ」

座っていても、していることがわかることで、ママパパが成果を感じられることが大切

同じ教具を持たない子

- 事前に同じでなくてもいいことを伝える
特に体験の方。無理に替えさせようとしなくていいことを伝える

大事なことは、持った教具で子どもが何をしているか

その様子を、ママパパに伝える

こんなとき、どうする？

絵本、フラッシュカードで立ってしまう子

- 絵本の高さは胸の位置、立つ子がいるからと上に上げない
上げることで、座って見ていた子も見づらくなって、立つ原因となる
- 絵本を見せ、スーッと下げて、定位置に戻す
注目、集中していて立ってしまった子に有効な動き
タイミングは、その子の様子、気持ちを受けて行う
- それでも、立ってる子

少し大きい子・・・手を差し出し「座って」「ここどうぞ」を端的に笑顔で伝える
小さい子・・・絵本を定位置に固定したまま、片手で抱えて座らせる
自由でいい、と思っているママパパもこの動きを先生がしたら座ることを促そうと気づける

- 絵本に触れる子

基本の持ち方でしっかりと固定させていれば、多少触れられてもブレず読めます。
一瞬高さを変えろということの応用で、絵本を少しクルッと動かしてみせることも効果があります。

こんなとき、どうする？

Zoomレッスン 画面の前にいない子

- 教室でいうなら、ジッとしていなくてもいい、ということ。

子どもは画面を意識していなくてもいい。

音楽を聴いて、声を聴いて、動きを観て反応していることが大事

そのことをママパパにも、繰り返し伝える

- ママパパが中継点

先生からママパパ、子どもへ伝える、だけでなく

先生からママパパへ、ママパパから子どもへ伝える、を活用する。

ママパパが、先生の動きを観て、声を聴いて、動き、それをお子さんに見せ
声をかけたり、触れたりしていただく

- ママパパの視線、動きを見逃さない

フレームアウトしても、ママパパの視線や動きから、子どもの様子が
想像できる

こんなとき、どうする？

パラバルーン 上に乗る、潜る子

- ピンと張る、下でリズムとる、雰囲気づくりをしても起きるとき

大きい子に多いです、端的に声をかけましょう

- ・上に乗った・・・「重～い」「一緒に持とう」「ピンと張れる？」
- ・下にもぐった・・・「ぶつかるよ」「一緒に持とう」「パタパタするよ～」

ギュッと持って、ピンと張れると、リズム、動きが伝わり、おもしろくなり引き込まれていきます。

張ったとき、動画のように「パンパン」として張れていることが体感できる動きを見せてみましょう。ママパパにも張る協力を促しましょう。

詳しく解説している指導動画をもう一度、観て実践してみてください。

コロナ禍の100年起業より

- ・ 伝統的な行事がコロナ禍で難しくなっている
- ・ おうちでもできる暮らしを豊かにしようという傾向
- ・ どの業種も、厳しくはあるけれど、普遍的なのが「**教育事業**」

「教育」は永遠のもの　ただし、差別化される

- ・ リトピュアの本質を変えずに、いいところを取り入れていく
- ・ こんな時代だから、子どもの未来に意識を持つ親御さんに選んでもらえる教育事業になることが大切
- ・ 最近の変化　⇒働くママ増えて土日レッスン人気、変わらず親子で楽しみたいリトピュアへのニーズ
- ・ 移住者が増えている。その人たちは、質の良い、医療と教育を求めている。
このような価値を重視する層に、沿革でも受けられることをしっかりと伝えていく。ターゲットとなる。
子どもの成果を出しながら、親御さん自身の子育てスキルアップ

ターゲットの意識とふさわしい発信

子どもの成果をウリをする教育業界、当たり前。

リトピュアは、親自身の子育てスキルもアップできる一石二鳥の習い事

熱心な親御さんに選ばれるリトピュア

自分もいつまでも成長し続けたい層の親御さんがターゲット

子どもだけでなく、熱心な親御さんの成長意欲を刺激する発信をする。

結果的に子どもの成長を引出すことになる。

親御さんの心のオアシス。

いっぱいある乳幼児教育の中でも、差別化できるように
一丸となった共通の発信をしていきましょう。

リトピュア認知度アップの新企画「おうちでリトピュア」

「リトピュア」の認知度をアップするための企画として
つくられた商品です。

全国どこからでも、習い事の導入として受けられる。
世の中で、0歳の子どもが生まれたら、リトピュア！ という認知度が
上げていく。

教室レッスンに来るハードルを下げている。

必ず効果の出る月2回の定期便動画で、レッスンをわかってる親子が、
すでに持っている教具セットを手にしてみなさんの教室に体験に行く。

それは、もうやりたい気持ちを持った、入会见込みの生徒さんです。

様々な効果を想定している、おうちでリトピュアです。
一丸となって発信して生徒集客に効果的に繋げていきましょう。

リトピュア式教育法で未来の人材を育む

日本の義務教育は、6歳小学校から、
0歳～6歳の大事な時期に義務教育がない。

「リトピュアが0歳～3歳までの義務教育になったら…」

子どもの一番最初の教育に選ばれたら、
「聴ける力」が身につき、「生きる土台」ができる。
リトピュア式で日本の未来は変わる、人材育成は変わる

「赤ちゃんが生まれたら、リトピュア」
不安のない、子育てができる

親も楽しみながら「プロの親」になっていただく。
頼れる先生がいる、安心して子育て環境を得ていただく。

リトピュアはこういう場所である、ということを
みんなで発信していきましょう。

ブログ文章術

WEBから集客できる仕組み

アクセス

検索・SNS



お客様候補

ブログ読者



体験

クロージング



入会

継続

お客様を繋ぎとめるのは
WEB集客において

言葉・文章

WEB集客における 文章 2種類の役割

- 告知文
- 誘導文

- **告知文**

レッスンの魅力

日時、場所、費用などの詳細

- **誘導文**

読者になる、体験したくなる

事例、感想より

告知文に誘導する文章
「誘導文」が必要！

心を動かす

心が動くから行動する

お客様を引き寄せ、繋がる強い力

「誘導文」の書き方

アクセスを集め

お客様候補とつながるために

必要な記事とは？

- ・ 検索にヒットするワード
- ・ 自分の悩みが解決できると気づける記事
- ・ 自分と同じ悩みを他の人も相談しているのがわかる記事
- ・ 自分の悩みがどう解決していくのか感じられる記事

- お客様が実際にいるとわかる記事
- お客様に結果が出ているとわかる記事
- お客様に信頼されて慕われているとわかる記事
- どんなメソッドなのかわかる記事
- どんな先生なのかわかる記事

誘導文のポイント

相談事例、感想事例から書く

お客様のアクションを引出す文章構成

雛形

1. 痛み
2. 共感
3. 主題
4. このブログを読むとどんないいことがあるか
5. 今すぐできる対処法
6. 根本的な解決法、考え方
7. 「1. 痛み」を解決する
リトピュアのセールスポイント
8. 行動を呼びかける

タイトル

| | | | |
|--|---|--|---|
| <p>①痛み お金を払っても解決したい 悩み、満足したい希望</p> | <p>③今日のテーマ 「これは私に必要な 情報！」と気づかせる</p> | <p>⑤今すぐできる対処法 具体的に箇条書きで 書く</p> | <p>⑦「①」の悩みを解決 するリトピュアの セールスポイント</p> |
| <p>②共感 「①」の痛みに自己開示 を交えながら 共感する言葉がけ</p> | <p>④読むとどんないいこと があるか</p> | <p>⑥根本的な解説法、 考え方 啓蒙していきたいこと 文章に厚みが出る</p> | <p>⑧明確に 行動を呼びかける</p> |

1. 痛み

お金を払って習い

解決したい悩み、満足したい希望

ブログタイトルと、読みはじめ部分で

「それって私のことだ！」と

自分事にならないと読んでもらえない

誰のどんな心の痛みを解決する記事を書くのか

1. 痛み

<痛みを書くときのポイント>

先生自身の過去の失敗や、生徒さん事例を交えて
「あなただけじゃない」という事を伝え、共感する

先生に親しみを覚え、距離が近くなる

同じような悩みを持っている人がいるんだ

私の悩みも解決できるんだ

と間接的に伝わる

2. 共感

1の痛みに、自己開示を交えて共感

しっかりと共感することで、共感される

ブログ文章で、心を開くことができれば
体験を受けようと思う一歩となる

2. 共感

<共感するときのポイント>

「よくあること」「あなただけではない」と
承認し、安心を与える

3. 今日のテーマ

メリットを感じてもらえる主題を書く

文章の冒頭で

「これは私に必要な情報だ！ 最後まで読まなくちゃ！」

となる

4. このブログを読むとどんないいことがあるか

商品のウリではなくて
お客様が得られる価値のこと

5. 今すぐできる対処法

具体的に

- ・ 箇条書きで書く

わかりにくいと、やってみようと思わない

簡潔に、ポイントを押さえて書くことが大事

- ・ 写真

視覚的にも訴えると、クオリティが上がる

5. 今すぐできる対処法

<今すぐできる対処法を書くときのポイント>

ほんとうに買う価値、習う価値があるのか、と
ジャッジされる大事なところ

アドバイスできる根底となるものを持っていないと
書くのが難しいと感じるはず

現場でも必要な力なので、ここで書くことを避けないで
訓練しましょう

6. 根本的な解決法、考え方

啓蒙していききたいこと

発信していききたいこと

根幹となることだから、いつも同じでいい
先生として信頼される、厚みが出る

7. 「1. 痛み」を解決する

リトピュアのセールスポイント

受けたら、こんな風になります

4. 5. 6. の内容から結論をまとめる

8. 行動を呼びかける

どんな行動をしてほしいか明確に書く

体験へ誘う

「お申込みはこちら」

「リトピュアHP」など

テンプレートを使うといいこと

- ・「型」に沿って書くことで、構成を考えなくていい
- ・ゴール設定して書くので、一貫性のある文章になる
- ・わかりやすい文章になり、テンポよく読める
- ・ターゲットに届く

SNSの役目

1. 拡散力、ハッシュタグの検索力を活用
2. お客様が読みたくなるテーマについて問題提起
3. 自己開示しながら共感されることで共感
4. アクセスを集め『ブログを読みに来てもらう』

ブログの役目

1. 読みたくなるテーマについて問題提起
2. 検索やSNSでアクセスを集めたお客様が気になり読む
3. 自己開示しながら痛みに共感することで共感される
4. お困りのことに気づきを与えたり、解決するヒントを伝えることで、プロとしての信頼を得る
5. 試してみたい！体験したい！
6. 『サービス購入のアクションを引き出す』

生徒さん集客したい！

行動あって、結果がある

どんな教室になりますか？

- A 教室ブログがない
- B 教室ブログはあるが更新していない
- C 書いているが、告知文のみ
- D 告知文がわかりやすく書いてあり
誘導文も書いて告知文に導いている
- E SNSもアップし「誘導文⇒告知文」と
セットされたブログに送り込んでいる

ブログ添削します。

ご希望の方はアップしたブログURLを送ってください。

info@rito-pure.com 矢島

次回、定例研修会は

2021年3月28日（日）です。

スケジュールを調整しておいてください。